

住んでみたい「日本水仙の香る魅力的な鎌手の
まちづくり」をめざして！

～鎌手地域自治組織設立準備会～

シリーズ

地 域 づ く り

鎌手地区

人 口：1,635 人
高齢化率：43.8%（平成29年10月末現在）

鎌手地区



★地区の状況

鎌手地区は、海や山に囲まれた自然豊かな地区です。漁業・農業が盛んな地域でしたが、近年は漁業や農業人口が減少に転じており、若い世代が地区外へ転出しています。

また、地区内には観光資源で、「益田市の花」「鎌手の花」でもある日本水仙が数多く栽培されています。唐音水仙公園には、水仙の見頃時期である12月～1月頃にかけて、口コミやインターネット等により、益田市内はもとより、県内外からも多くの観光客（年間を通じて1万人超）が来園します。

11月5日には山陰道鎌手保存会が中心となり、“(旧)山陰道を歩こうウォーキング”を開催し、イベントを実施しました。市外・県外からも参加がありましたが、あいにくの雨の影響により開催が1週間延期となったため、全体で50名と前年度より15名少ない中での開催となりました。また、今回も昨年度に引続き、鎌手峠において、昼食時におむすびとつみれ汁を参加者の皆さんへ振舞ったことで、参加者の皆さんからは大変喜ばれ、交流人口の拡大につながったと考えています。

★準備会の取組

市が推進する、地域自治組織設立に向けた取組の一つである“地域自治組織設立準備事業”に取組むため、平成26年7月に立ち上げた「鎌手地域魅力化推進協議会」は、平成29年6月の総会で「鎌手地域自治組織設立準備会」へ名称変更をしました。

また、昨年度に引続き、地域づくりの『ワークショップ』を開催し、自治組織設立準備会委員と、各自治会から選出された、幅広い年齢層の方々にも多数参加していただき、地域の課題や解決策について話し合いをしているところです。



★地区の課題

- ・高度成長時代と比べて、事業所（働く場）がかなり減少している。 地域自治組織設立準備会の様子
 - ・鎌手地区に『コンビニエンスストア』が無くなった事で、買い物ができなくなった。
- ※上記の課題は、準備会での意見の一部ですが、“鎌手地区の皆さんの民意を反映させていく組織づくり”を目指し、協議・検討を重ねていきます。

★今後の取組

今年度、地域自治組織設立準備会では、既存の縦割り組織形態を見直し、地区内の団体同士のつながり・連携を生み出すため、新たに「部会制」を取り入れる方向で話し合いをしています。これにより“魅力的で住みやすい地域”となるよう努力していきたいと考えています。

北仙道地区

人口：505人

高齢化率：46.1%（平成29年10月末現在）

★地区の状況

当地区は比礼振山の麓にあり、市街地から5～8km、車で10分程度の場所にある総面積15.53km²の地域です。

益田十景にも選ばれている比礼振山に登れば市内を見渡すことができます。また、乙子・赤雁地区には赤い雁の背に乗り五穀の種を伝えたという狭姫伝説がある、歴史ある地区です。



地区からみた比礼振山



北仙道地区

地区の小学校は平成19年3月末に閉校になりましたが、現在は公民館として利用されており、写真教室や通学合宿・子ども会等で校舎を活用し、地区の子どもと大人と一緒に活動する行事や、運動会や文化祭等のさまざまな地区行事にも利用されています。

★地区の課題

交通手段が少ないため、車を持っていない高齢者は買い物や通院等に支障をきたしています。高齢化や人口減少から農作業や草刈り作業など、住民一人にかかる作業内容が多くなっています。また、害獣被害も多く、民家近くでもイノシシや熊が目撃され、今のところ人的被害はありませんが、住民の不安も強くなっており、早急な鳥獣対策が必要だと考えています。

★準備会の取組

毎月1回、準備会議で話し合いを重ねています。また、平成29年9月末頃より、高齢者の交通手段の現状把握をするため、独居高齢者世帯・高齢者夫婦世帯から状況を聞いています。

当準備会議のフェイスブックを活用し、市内外にどんどん情報発信をしていきたいと思っています。



地域自治組織設立準備会議の様子

★今後の取組

自治組織設立準備会議で既存事業と行事を整理した後、地区住民へ地域自治組織の説明会を実施し、自治組織の役割を理解した上で各世代の住民が関わりを持ち、今後も安全で暮らしやすい地域になるようにしていきたいと考えています。



地区の子どもと写真教室での様子

～地域自治組織

「とよかわの未来をつくる会」～

「住みよい豊川・住み続けたい豊川」そして未来へ

シリーズ

地 域 づ く り

豊川地区

人 口：904人
高齢化率：36.0%（平成29年10月末現在）

★地区の状況

当地区は、益田市の中心市街地に隣接し、都市部と山間部をあわせ持つ、緑に囲まれた自然豊かな都市近郊の地域です。大半の集落が国道191号沿いに集中しており、国道に並行して益田川が流れ、上流部には益田川ダムが設置されています。

公共的な施設としては保育園、小学校、公民館・地区振興センターがありますが、少子高齢化が進んでいる状況下において、特に乳幼児、児童の減少が著しい状況です。

さらに、地域内で日用品、食料品等を購入できる商店もなくなり、高齢者世帯や独居高齢者など、交通弱者にとっては大変な事態に直面している地域もあります。



大谷城跡より小学校を望む

★「とよかわの未来をつくる会」の取組紹介

当地区においては、自分たちが住む地域の課題は自分たちで解決し、地区の将来をみんなで考える地域自治組織を設立するため、平成29年8月20日「とよかわの未来をつくる会」の設立総会を住民約250名参加のもと開催し、今後3カ年間に取組むまちづくり計画等を決定しました。

まちづくり計画として「未来づくり委員会」・「ひとづくり部会」・「魅力づくり部会」の3つの会を立ち上げて活動していくことになりました。3つの会の役割等は次のとおりです。

○未来づくり委員会

- ・小学校の地域交流スペースや公民館・集会所など、地域住民の交流の拠点としての機能を整備する。
- ・ワークショップ等を開催し、地域の暮らしに関わるテーマについての話し合いや地区行事、イベントの見直しについての話し合いの場の企画・運営を行い、魅力づくり部会へ提案する。
- ・地域内外への情報発信を行う。

○ひとづくり部会

- ・小学生から高校生を対象として、学習支援、外国語学習、文化継承、体験活動等を実施する。
- ・中高生が地域活動へ参画できるよう支援を行う。
- ・地区内の多世代の方々との交流や地域外の人との交流、また、活動を通じた大人の学びの機会を創出するため、「マスタひとまちカレッジとよかわキャンパス」を運営する。
- ・保育園、小学校、中学校と地域が連携して行う活動を支援する。

○魅力づくり部会

- ・空き家や休耕田などを有効活用する。
- ・史跡等の保存を目的とした除草、伐採により環境を整備する。
- ・未来づくり委員会から提案される新事業を実施する。



地域自治組織設立総会



「とよかわの未来をつくる会」役員会

★今年度の活動状況

今年度は主に久々茂集会所の環境整備に取り組んでいます。豊川公民館や豊川小学校のある大谷地区だけでなく、久々茂地区にも一つの拠点を整備することにより、豊川全体で積極的な交流の輪を広げたいと考えています。